

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	敬老祝金支給事業	文教福祉分科会

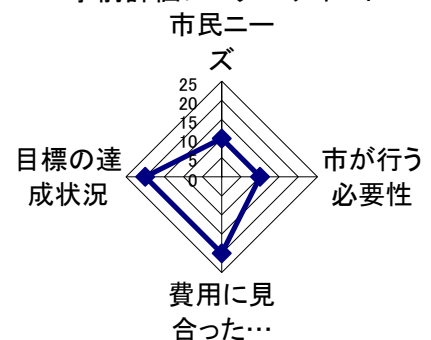
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 市民全体から見た視点を ご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	若者より資産があると思われるので、現金を差上げる必要性はどちらかと言えば低い。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 民間等が行えるかどうかを ご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	地域福祉計画の中で、地元による敬老の意の表し方を考えてもよい。その意味で、市がやらなくてもよい。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 祝い金が老人の活力と「敬老祝福」に繋がっているかを 踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ○ ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	20	受け取られた方たちからは、嬉しいとの声がおおかったことを考慮すると、効果はある。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 受け取り率と満足度をふまえてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	ほとんどの方が受け取られている。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76～99点	
	④ おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

現金ということから、喜ばない人はいないが、もっとコアおだて支援に使ってほしいとの意見もあったことは確かである。高齢者人口も増加していくのでさらに検討する必要がある。

課題と反省

寿命が延びているので、今後のシュミレーションをして、続けるといくら必要か、具体的に資料を提示する。そのうえで88歳と100歳の方のみのお祝い金にするとか、検討してもよい。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	市民クラブ維新会
-----	----------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	敬老祝金支給事業	文教福祉分科会

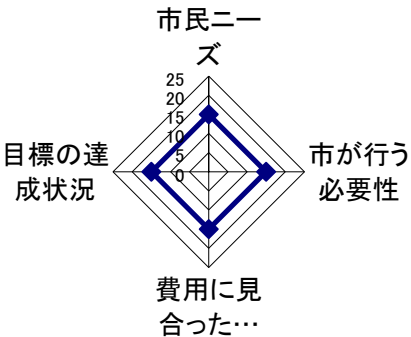
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 市民全体から見た視点を ご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	市民全体から見れば、対象者は少なく、祝金の額も少なくなっている。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 民間等が行えるかどうかを ご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	敬老祝金を出費できるのは、もちろん市であり、民間等はいない。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 祝金が高齢者の活力と「敬老祝福」に繋がっているかを 踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	アンケートによると「少額でも欲しい」と「金額が少ない」との意見に分かれるところだ。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 受け取り率と満足度をふまえてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	受け取る本人にすれば有難いだろうし、満足度は不明である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
祝金を増額すれば良いというものでもないし、以前に比べれば、減額した経緯もあるようだし、今後の高齢者の増加を考慮するなど、多方面からの検討が必要である。

課題と反省

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	敬老祝金支給事業	文教福祉分科会

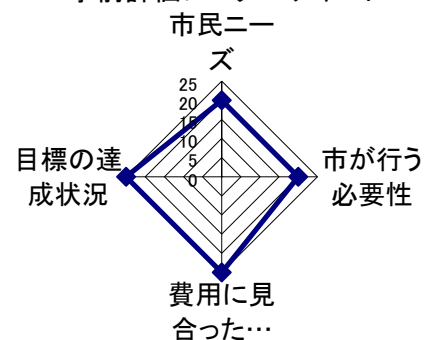
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 市民全体から見た視点を ご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	敬老祝い金はとても嬉しい、という高齢者の多くの発言がある。年金受給額が減少している昨今だから継続すべきだと考える。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 民間等が行えるかどうかを ご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	高齢の市民にとって、終生の地になる守谷市からの思いやり予算は、重要な意味がある。無くすべきではない。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 祝い金が老人の活力と「敬老祝福」に繋がっているかを 踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ○ ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	25	高齢者の気持を汲むなら、費用対効果は十分ある。心細くなってくる人生後半にもらう祝い金は活力につながる。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 受け取り率と満足度をふま えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ○ ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	25	高齢者が貧富の差において二極化していることは確かだが、極めて成果がある福祉予算は削るべきではない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	90
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

高齢化が進み祝いの対象者が増えたとしても、成果があり、高齢者の活性化につながる事業として、もっと給付機会を増やしてもいい。

課題と反省

平均年齢が世界一の国として、この事業は誇れる事業とする認識でますます充足していくべき。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	みんなの会
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	敬老祝金支給事業	文教福祉分科会

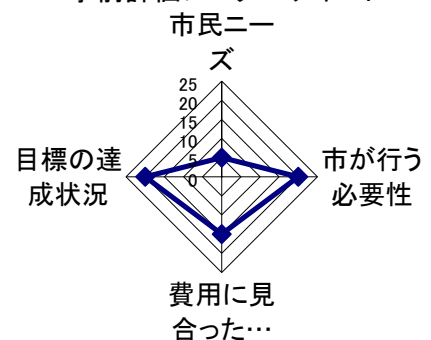
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 市民全体から見た視点を ご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	高齢化に伴い、対象者は増えているが、市民全体から見ればニーズは低いと考えられる。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 民間等が行えるかどうかを ご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	行政が行うべきであるとする。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 祝い金が老人の活力と「敬老祝福」に繋がっているかを 踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	少なからず効果的であるとするが、近隣の市町村と比較しても、金額や今後増加するであろう対象人数に支払う金額が妥当か考えるべきである。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 受け取り率と満足度をふまえてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	受け取り率は100%であり満足していると考えられる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
現在288万円が敬老の祝い金として出ているが、今後77歳の方の増加も予想され、財政状況が更に厳しくなる中、限られた財源の中で確実に増加する金額として考えた時、現金を配る事での祝いの形が正しいのかどうか考えるべきである。

課題と反省
支給年齢の見直しや、支給金額(物品)の見直しも必要であるとする。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	敬老祝金支給事業	文教福祉分科会

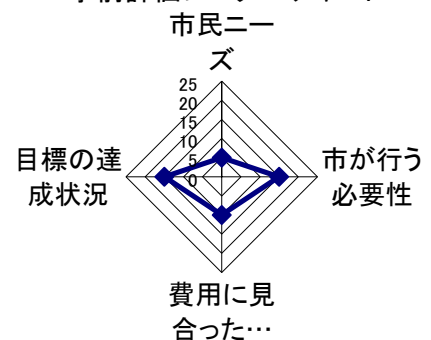
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 市民全体から見た視点を ご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	敬老として市がお祝い金として対象者に現金を支給することは、市民全体からみでの必要性はあまり感じられない。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 民間等が行えるかどうかを ご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	この事業を今後とも継続するのであるならば、市が行う必要性は高い。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 祝い金が老人の活力と「敬老祝福」に繋がっているかを 踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	お祝い金を支給対象者の活力に繋がるかについての判断はわからないが、敬老の祝福にはなっている。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 受け取り率と満足度をふまえてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	祝い金を手渡しでほぼ100%渡している点においては、目標は達成されている。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
お祝い金の改訂はこれまでも行われている。今後は団塊の世代が対象年齢になった時の予算の増加が懸念される。 アンケート結果の中では、子育てや教育に予算を充てて欲しいという意見があり、これらと同じ意見を持っている高齢者が意外と多いのではないかと見受けられ、事業の必要性が余りないのではとも考えられる。

課題と反省
今後の課題としては、77歳と88歳の支給を廃止し、その予算を高齢者の健康長寿への取り組みに変えるなどの検討をしてはどうかと考える。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	敬老祝金支給事業	文教福祉分科会

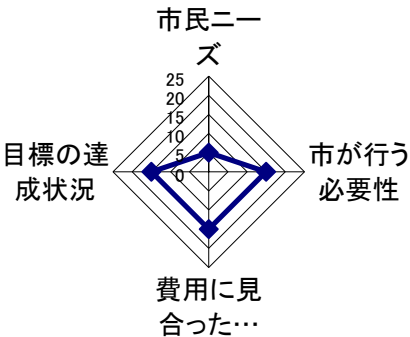
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 市民全体から見た視点を ご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	高齢化に伴い対象者は増えているが、市民全体から見ればニーズは低い。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 民間等が行えるかどうかを ご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	民間等では不可能である。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 祝い金が老人の活力と「敬老祝福」に繋がっているかを 踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	祝い金がほしいという意見が多い。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 受け取り率と満足度をふま えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	受取率が100%であり満足度は高い。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
高齢化社会に伴い年々増加傾向にあり、祝い金を出すことが本当の意味でのお祝いになるのか疑問である。

課題と反省
支給金額と支給年齢の見直しが必要である。

平成27年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	結いの会
-----	------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
6	一般会計	敬老祝金支給事業	文教福祉分科会

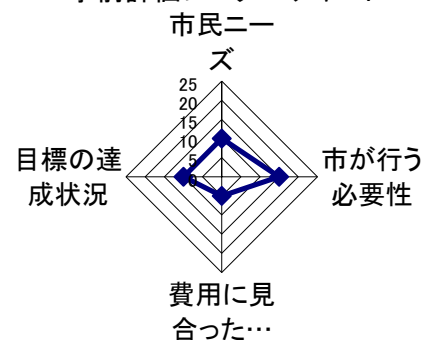
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ ★評価の視点 市民全体から見た視点を ご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	貰った方は当然喜んでいる。 だが、市民全体から見て合理的な使 い方かどうかは疑問。
(2) 市が行う必要性 ★評価の視点 民間等が行えるかどうかを ご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	市全域に対して民間企業が同様の ことを行うことは難しい。
(3) 費用に見合った効果 ★評価の視点 祝い金が老人の活力と「敬 老祝福」に繋がっているかを 踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	単なるお祝い金が高齢者の活力や 行動力につながるかは疑問。
(4) 目標の達成状況 ★評価の視点 受け取り率と満足度をふま えてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	受け取り対象の方からも、市の財政 問題への心配や現役世代に使っ てほしいという声がある。 高齢者に対しても、ただお金を渡す だけで、生きがいきづくりなどの「動き」 に繋がるかは疑問。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理 由
単なるお祝いではなく、高齢者の交流促進、生きがいきづくり、健康 づくりなどの「動き」を生じさせることをより重視すべきである。 そのためには、祝いの意義は薄く、廃止ないしは縮小を考慮し て、浮いた予算を敬老会等の活性化に向けるべき。

課題と反省